

2018年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	文学部 教育学科 2年（留学年次） 年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 淡江大学 日本文学科
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2018年 2月 26日 ～ 2019年 1月 11日 出国日 2018年 2月 23日 最終帰国日 2019年 1月 16日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

この一步を踏み出さなければいつまでも日本に留まるだけになっていたと思います。留年すること、そして金銭面で最初は留学を躊躇していましたが、本当に中身の濃い1年にすることができ全く後悔していません。留学生との会話の中で世界における日本の位置を意識したり、自分が今後何をしたいのか考えたりする良い機会になりました。つらい時期もあり途中何度か日本に帰りたくなった時もありました。しかし、自分で決めたことを乗り越えることが出来た達成感でいまは留学に行くことができとてもよかったです。楽しい事：大変だったこと＝4：6ぐらいで、大変なことが多かったけれどとてもいい経験になりました。またこの留学は人生の中で間違いなく大きな転換点となったと思います。海外での生活経験は、まさに多文化の中での生活であったと思います。それを機に、これからの日本での多文化教育についても考えることが出来ました。

また台湾という自分のバックグラウンドを見つめなおしながら、向こうの全く違う価値観や空間の中で体験したことは今の自分の考え方にとても強く影響しているように感じます。留学が終わってしまうと元の日本での生活が待っており、少し残念な気がしますが、やり残したことはありません。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

語学力の向上は言うまでもありませんが、留学先やその周辺の国の歴史文化を理解してから留学に行くべきだと思います。何気ない街の風景や出来事も考えるきっかけになるからです。自分のアンテナを広げ、たくさんのことを学ぶため、感じ取るためにも歴史、文化学

習をしておくとも良いと思います。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

淡江大学は多くの留学生を受け入れているため教授も受け入れ態勢が整っていて、何か問題があれば柔軟に対応してくれました。プレゼンテーションの授業は、うまい表現が出てこない時も、表現を教えながら発表することができます。レポートを書くのはかなり時間がかかりますが、その後きちんと添削をいれて返してくれたのでとても勉強になりました。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

学習院大学に比べキャンパスが大きく感じました。校内に坂が多いので教室を移動するのに夏は暑くて大変でした。清掃の方が毎日いらっしゃるので校舎、お手洗いなどはきれいな印象です。ベンチもあり、涼しい日は外でランチをするのも楽しいです。

学習院同様パソコンルームもあります。24時間利用可能な自習室、パソコン室もあるのでテスト前は混雑しますが、利用しました。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

なし

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

麗澤寮に、台湾人の学生も一緒に住んでいて、普段の生活のサポートをしてくれます。

1学期に一度寮のメンバーで行く旅行も企画してくれます。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

なし

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

大学の周りは本当に治安がいいです。しかし常日頃、交通事故に巻き込まれないように気を付ける必要はあります。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

(2) 家賃

一学期(現地通貨) 13000 円 、(日本円) 約 39000 円

(3) 食事

食事付き(朝・昼・夕) / 自炊 / その他(外食)

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他()、計 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

4. 費用について

(1) 学 費

協定留学なので学習院大学側の学費のみ

(2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他()、(日本円) 往復約 5 万円

(3) 生活費

(現地通貨) 年額 約 8 万 6 千円 、(日本円) 約 30 万円

※ 宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

~~インターナショナルキャッシュカード~~ / クレジットカード / 国際ブランドプリペイドカード / 現金 / その他()

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

基本的に、一ヶ月使う分をまとめておりました。寮内で現金が盗まれることがあったので、財布に入れていない分はきちんと自分の机に鍵をかけることが大事。寮の誰かを疑いながら住むのはつらいので自分だけでなく、ルームメイトにもきちんと部屋の鍵、机の鍵をするよう、お互いに気を付けることが大事です。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

渡航費

食費

5. 保険について

(1) 保険会社名

東京海上日動海外留学保険

(2) 保険料

81430 円

(3) 加入した保険の種類、内容

(4) 感想、良かった点・悪かった点

一度も医療機関にかかることはありませんでした。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物／船便／SAL 便／航空便／海外宅配便／その他（ ）

(2) 持って行って良かったと思う物

渡航したばかりのころと、12月は少し寒いので毛布をもっていきました。
台湾の外食に疲れたときに使える、日本の調味料、レトルト食品、即席食品。
蚊よけ、日焼け止め

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

(4) 持って行けば良かったと思う物

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

授業を受け、そのまま図書館に行って予習と復習をしました。ルームメイトに許可をもらい部屋で授業のグループの仲間と一緒に課題をやることもありました。

一週間に一度図書館でDVDを借りて寮のベースメントで映画鑑賞もしました。

中国語の授業が午後6時～8時までであるので授業後か授業前に友達と夕飯を食べます。

(2) 週末

台北に出かけないときは、淡水河の川辺にあるスターバックスに行って勉強します。

留学生同士で約束して台北に出ることも多くあります。

8. 後輩へのアドバイス等

一年の留學生活の中で、履修している内容にもよりますが授業を受けている時間もそんなに長くありません。それ以外の時間をいかに有意義に使えるかが重要だと思います。経験者が何を言おうと、一人ひとり自分で経験してくるものは全く違うので、自分にとって特別な時間になるように楽しんで過ごしてください。留學に行ったからといって何かが大きく変わることはありませんが、プラスになること間違いのないと思います。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。